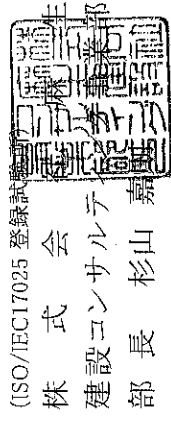


発行年月日	平成25年11月05日
受付年月日	平成25年10月31日
受付番号	A1310046

モルタルの圧縮強度試験結果報告書

株式会社 博有

御中



試験結果を以下の通り報告します。

依頼者	株式会社 博有		品質管理試験	
所在地	福岡県鞍手郡鞍手町上木月275-1			
種類	無収縮グラウト			
製造会社名	株式会社 博有			
製品名称	H2 急結レベラー			
製造年月日	1回目	平成25年10月04日	1回目	
			平成25年10月31日	
形状	幅	4 cm × 高さ	長さ16 cm	
	数量	試験回数ごと	3本: 合計 3本。(1本を曲げ強度試験後、分割した供試体で各1回実施)	
養生方法	標準養生			
試験方法	JIS R 5201「セメントの物理試験方法」10.6.1圧縮強さに準じて試験を行った。 【使用設備・機器】 1.油圧式200kN圧縮試験機 (使用レンジ: 200 kN)			
試験年月日 (材齢)	回数	供試体番号	最大荷重 ($\times 10^3\text{N}$)	
	平成25年11月01日 (材齢: 28日)	1	114	
		2	108	
		3	110	
1回目			圧縮強度 (N/mm^2)	
試験結果				平均値 69.2
				良
				良
				良
担当	株式会社麻生 建設コンサルティング事業部 試験所グループ 福岡県糟屋郡粕屋町大字仲原2648番地 TEL.(092)-624-1305 FAX(092)-624-1308 技術管理責任者 吉瀬 寛 試験担当者 竹下 尚			

注記) 本試験結果報告書の取り扱いについて

- 1 本報告書を第三者に開示する場合は、必ず全文を複製するものとし、一部の複製は行わないで下さい。
- 2 本報告書の試験結果の一部を当該試験所の名称を添付してカタログ等に記載する場合は、事前にご文書により当該試験所の承認を得るようして下さい。

発行年月日	平成25年11月05日
受付年月日	平成25年10月31日
受付番号	A1310046

モルタルの曲げ強度試験結果報告書

株式会社 博有

御中

(ISO/IEC17025 登録試験所)

株式会社
建設コンサルテ
部長 杉山



試験結果を以下の通り報告します。

件名	品質管理試験						
依頼者	会社名	株式会社 博有					
	所在地	福岡県鞍手郡鞍手町上木月275-1					
	種類	無収縮グラウト					
	製造会社名	株式会社 博有					
供	製品名称	H2 急結レバラー					
試	製造年月日	1回目 平成25年10月04日	1回目 平成25年10月31日				
体	形状	幅 4 cm × 高さ 4 cm × 長さ 16 cmの角柱形					
	数量	試験種類ごと 3本; 合計 3本。					
	養生方法	標準養生					
試験方法	JIS R 5201「セメントの物理試験方法」10.6.2曲げ強さに準じて試験を行った。 【使用設備・機器】 1. 油圧式200kN圧縮試験機 (使用レンジ: 20 kN, スパン: 100 mm)						
試験結果	試験年月日 (材齢)	回数	供試体番号	最大荷重 ($\times 10^3 \text{N}$)	曲げ強度 (N/mm^2)	破壊状況	
		1回目	1	5.70	13.3	平均値	良
	平成25年11月01日 (材齢: 28日)	1回目	2	5.50	12.9	13.3	良
			3	5.90	13.8		良
担当	株式会社麻生建設コンサルティング事業部 試験所グループ 福岡県糟屋郡粕屋町大字中原2648番地 TEL(092)-624-1305 FAX(092)-624-1308 技術管理責任者 吉瀬 寛 試験担当者 竹下 尚						

(注記) 本試験結果報告書の取扱いについて

- 1 本報告書を第三者に開示する場合は、必ず全文を複製するものとし、一部の複製は行われないで下さい。
- 2 本報告書の試験結果の一部を当該試験所の名称を添付してカタログ等に記載する場合は、事前に文書により当該試験所の承認を得る上に行して下さい。

製品安全データシート

1 化学物質等及び会社情報

製品名 H2急結しペラー
会社名 株式会社 博 有
住所 福岡県直方市植木849-1 ADOX別館
電話番号 0949-28-7428

2 組成、成分情報 単一製品・混合物の区別 一般名 成分

混合物
セメントモルタル

《名 称》
普通ポルトランドセメント
アルミナセメント
膨張材
増粘材
微量の有機物

危険有害成分
危険有害不純物

該当しない
該当しない

3 危険有害性の要約 最重要霧危険有害性

一般的な条件下で、現在のところ特別な危険性に関する有用な情報はない。但し、水と接触すると水酸化カルシウムを生じた場合、刺激性を呈する。そのために目や皮膚に付着した場合は、長時間付着した状況では、炎症を起こす可能性がある。
粉塵を多量に長期吸入し続けると呼吸器に影響をもたらす恐れがある。
通常の取り扱いでは、危険性はないが、水に接触すると固化する。

健康への有害性

物理的及び化学的危険性

分類の名称
(分類基準は日本方式)

分類基準に該当しない

4 応急措置 皮膚に付着した場合

多量の水、微温湯および石鹼で洗い流す。必要に応じて、医師の診断を受ける。

目に入った場合

目をこすらず清浄な水で異物感がなくなるまで洗浄し、必要に応じて眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水を飲ませ、喉に指を入れて吐き出させる。

吸入した場合

新鮮な空気の場所に移動する。必要に応じて医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

火災時の特定危険有害性
特定の消化方法
消化剤

自体は不燃であるため特になし
自体は不燃であるため特になし
自体は不燃であるため特になし

6 漏出時の措置 人体に対する注意事項

漏出時の処理を行う際には、必ず保護眼鏡、防塵手袋、防塵マスク、保護衣等を着用する。

環境に対する注意事項

漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

7 取扱いおよび保管上の注意 取扱い

取扱いは換気のよい場所で行い、適切な保護具(保護眼鏡、保護手袋、防塵マスク、保護衣等)を着用する。
水濡れ、直射日光を避け、屋内で貯蔵する。保管時の温度は40℃以上とならないようにする。

保管 適切な保管条件

8 暴露防止及び保護措置
設備対策

取扱いについてはできるだけ密閉された措置、器具を使用する。
適切な排気、換気装置を使用する。
取扱い場所の近くに洗顔、水洗設備を設けることが好ましい。
管理濃度(労働安全衛生法・作業環境評価基準) 2.9mg/m³
許容濃度 日本産業衛生学会 第2種粉塵:吸入性粉塵 1mg/m³・
総粉塵 4mg/m³

保護具 保護眼鏡(ゴム又は樹脂製のゴーグルタイプが好ましい)、保護
手袋、保護マスク、保護依(長袖、長ズボン)等

9 物理的及び化学的性質

外觀

物理的状态

色

pH

個体

灰色

水と接触すると水酸化カルシウムを生じpH12~13を呈する。

10 安定性及び反応性

安定性

反応性

避けるべき条件

避けるべき材料

一般的環境下では安定

水分との接触により、固化する。

特になし

特になし

11 有害性情報

刺激性(皮膚、目等)

水と接触すると水酸化カルシウムを生じpH12~13を呈する。
そのために目や皮膚に接触すると刺激する。皮膚に長期間付着
した状況では炎症を起こす可能性がある。

粉塵を多量に長期間吸入し続けると、呼吸器に影響をもたらす
恐れがある。

12 環境影響情報

分解性

生体蓄積性

魚毒性

データなし

データなし

データなし

13 廃棄上の注意

法的に許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

14 輸送上の注意

国連分類

国連番号

国内規制

輸送の特定の安全対策及び

条件

該当しない

該当しない

該当しない

運搬に際しては包装に漏れのないことを確かめ、転倒落下、損傷
がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。また、水濡れ
がないよう保護措置を講じる。

15 適用法令

使用条件により「労働安全衛生法(粉じん障害防止規則)」

16 その他の情報

本製品は、化学物質排出管理促進法(PRTR法)及び労働安全衛生法57条の2に定められた
MSDSの発行が必要な物質には該当しません。

本製品安全データシート(MSDS)は、JIS Z 7250:2000「化学物質等安全データシート(MSDS) -
第1部:内容および項目の順序」に準じて作成しており、用語の定義は、JISに従っています。

本データシートは、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しておりますが、新しい
知見により改訂されることがあります。また、MSDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたも
のです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適切な安全対策を実施の上、
製品を使用してください。

また、弊社はMSDS記載事項について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものでは
なく、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。